

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場会社名 日本特殊塗料株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4619 URL <http://www.nttoryo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 万喜夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 業務本部長 (氏名) 田谷 純 (TEL) 03-3913-6134  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	28,688	0.1	904	8.6	2,535	7.9	2,171	6.0
26年3月期第3四半期	28,649	15.6	832	91.9	2,349	71.0	2,047	73.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,937百万円(△34.4%) 26年3月期第3四半期 4,314百万円(195.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	98.20	—
26年3月期第3四半期	92.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	51,184	28,752	53.8
26年3月期	47,960	26,794	53.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 27,540百万円 26年3月期 25,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△1.0	1,000	△23.3	3,200	△3.8	2,400	△11.5	108.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	23,611,200株	26年3月期	23,611,200株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,500,237株	26年3月期	1,499,954株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	22,111,119株	26年3月期3Q	22,111,701株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる影響がありましたものの、原油価格の下落に伴う企業収益の改善、雇用環境の回復など緩やかな回復基調が続いております。一方、為替円安による原材料等輸入コストの上昇や新興国経済の下振れリスクなど、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明感が残る状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、顧客ニーズに合致した製品開発や新規顧客の開拓など販売活動を強化するとともに、生産能力の増強、原価改善、生産性の向上など収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は自動車製品関連事業の受注が堅調に伸びた一方、塗料関連事業の売上高が減少したため286億8千8百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

損益面につきましては、原材料価格の圧縮、コスト削減による原価改善等により営業利益は9億4百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益は持分法による投資利益等で25億3千5百万円（前年同期比7.9%増）、四半期純利益は21億7千1百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

#### ① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、消費税率引き上げによる消費の落ち込みや天候不順の影響を受け、売上高及びセグメント利益は前年同期を大きく下回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は前年同期比3.6%増加しましたが、屋根用塗料は前年同期比15.2%減少しました。航空機用塗料は、機体塗り替え需要増により前年同期比16.9%増加しました。一方、工事関連売上の集合住宅大規模改修工事は、消費税増税の駆け込み需要反動減の影響を受け前年同期比41.7%と大きく減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は105億3千5百万円（前年同期比16.6%減）セグメント利益は2億7千6百万円（前年同期比49.2%減）となりました。

#### ② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、乗用車生産台数が堅調に推移したことで国内外での受注増加により、売上高及びセグメント利益は前年同期を大きく上回りました。

品種別売上高につきましては、制振材は前年同期比4.5%の増加、防錆塗料は前年同期比8.8%の増加、吸・遮音材は17.0%増加しました。また、原材料輸出等のその他売上についても、好調を継続し前年同期比20.6%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は181億4千1百万円（前年同期比13.3%増）、セグメント利益は6億2千1百万円（前年同期比118.8%増）となりました。

#### ③ その他

保険代理業の売上高は12百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

(注) 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高消去後の数値を記載しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ32億2千4百万円増加し、511億8千4百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少7億8千9百万円、受取手形及び売掛金の増加1億3百万円、有形固定資産の増加11億6百万円、株式市況の回復及び関係会社株式の増資等による投資有価証券の増加24億9千8百万円によるものです。

#### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億6千6百万円増加し、224億3千2百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少6億6千3百万円、借入金の増加5億1千2百万円、未払法人税等の減少4億6千9百万円、退職給付に係る負債の増加11億8千8百万円によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億5千7百万円増加し、287億5千2百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加10億9千9百万円、その他有価証券評価差額金の増加5億8千8百万円、為替換算調整勘定の増加1億4千5百万円によるものです。自己資本比率は0.2%増加し53.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年2月5日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,251,687千円増加し、利益剰余金が805,585千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,866,228	4,076,679
受取手形及び売掛金	12,396,448	12,500,347
商品及び製品	1,116,578	1,240,478
仕掛品	401,855	385,733
原材料及び貯蔵品	1,088,766	995,504
繰延税金資産	391,568	392,608
その他	539,244	393,140
貸倒引当金	△6,363	△6,181
流動資産合計	20,794,328	19,978,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,488,457	3,950,643
機械装置及び運搬具(純額)	3,242,561	3,449,007
土地	3,373,793	3,373,793
建設仮勘定	329,669	647,875
その他(純額)	1,334,338	1,454,359
有形固定資産合計	11,768,819	12,875,680
無形固定資産	232,264	260,472
投資その他の資産		
投資有価証券	13,617,394	16,115,445
繰延税金資産	67,694	49,302
その他	1,490,791	1,914,415
貸倒引当金	△10,901	△9,105
投資その他の資産合計	15,164,979	18,070,058
固定資産合計	27,166,064	31,206,210
資産合計	47,960,392	51,184,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,652,160	8,988,991
短期借入金	1,935,533	2,606,524
リース債務	46,921	46,359
未払法人税等	539,280	70,036
役員賞与引当金	50,800	-
その他	3,032,354	3,944,652
流動負債合計	15,257,051	15,656,563
固定負債		
長期借入金	2,111,569	1,952,761
リース債務	168,858	134,679
退職給付に係る負債	2,866,838	4,055,435
繰延税金負債	724,061	596,766
その他	37,403	35,925
固定負債合計	5,908,731	6,775,568
負債合計	21,165,782	22,432,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753,085	4,753,085
資本剰余金	4,362,942	4,362,942
利益剰余金	13,335,252	14,434,621
自己株式	△496,297	△496,484
株主資本合計	21,954,982	23,054,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,398,360	3,986,908
為替換算調整勘定	391,378	536,809
退職給付に係る調整累計額	△36,840	△37,551
その他の包括利益累計額合計	3,752,898	4,486,166
少数株主持分	1,086,729	1,212,058
純資産合計	26,794,610	28,752,389
負債純資産合計	47,960,392	51,184,521



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	28,649,149	28,688,997
売上原価	23,096,839	22,929,099
売上総利益	5,552,309	5,759,898
販売費及び一般管理費	4,719,448	4,855,816
営業利益	832,860	904,081
営業外収益		
受取利息	3,773	12,323
受取配当金	90,364	111,548
持分法による投資利益	1,314,210	1,422,270
その他	167,330	139,475
営業外収益合計	1,575,678	1,685,617
営業外費用		
支払利息	52,142	48,741
その他	6,400	5,067
営業外費用合計	58,542	53,809
経常利益	2,349,996	2,535,889
特別利益		
固定資産売却益	2,533	2,908
関係会社出資金売却益	79,065	-
関係会社清算益	1,467	-
受取保険金	1,199	5,667
持分変動利益	1,527	-
特別利益合計	85,793	8,576
特別損失		
固定資産処分損	19,747	28,089
特別損失合計	19,747	28,089
税金等調整前四半期純利益	2,416,042	2,516,376
法人税等	308,073	287,283
少数株主損益調整前四半期純利益	2,107,968	2,229,093
少数株主利益	60,461	57,815
四半期純利益	2,047,507	2,171,277

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,107,968	2,229,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,605,179	583,608
為替換算調整勘定	△4,497	△52,739
退職給付に係る調整額	-	7,487
持分法適用会社に対する持分相当額	605,593	169,846
その他の包括利益合計	2,206,274	708,203
四半期包括利益	4,314,243	2,937,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,281,306	2,904,545
少数株主に係る四半期包括利益	32,937	32,750

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,630,393	16,008,513	28,638,906	10,242	28,649,149	—	28,649,149
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,700	—	2,700	—	2,700	△2,700	—
計	12,633,093	16,008,513	28,641,606	10,242	28,651,849	△2,700	28,649,149
セグメント利益	544,692	283,801	828,494	4,366	832,860	—	832,860

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,535,720	18,141,168	28,676,888	12,109	28,688,997	—	28,688,997
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,700	—	2,700	—	2,700	△2,700	—
計	10,538,420	18,141,168	28,679,588	12,109	28,691,697	△2,700	28,688,997
セグメント利益	276,712	621,055	897,768	6,313	904,081	—	904,081

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。  
この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。